

平成30年3月 南魚沼市議会定例会  
一般質問順位表

質問順位	議席番号	質問者	日程
1	1	大 平 剛	6日 (火)
2	10	塩 川 裕 紀	
3	16	中 沢 一 博	
4	9	桑 原 圭 美	
5	4	吉 田 光 利	
6	8	永 井 拓 三	
7	15	寺 口 友 彦	
8	5	中 沢 道 夫	
9	21	牧 野 晶	7日 (水)
10	6	田 中 せ つ 子	
11	14	佐 藤 剛	
12	3	目 黒 哲 也	
13	2	梅 沢 道 男	
14	7	勝 又 貞 夫	
15	13	岡 村 雅 夫	
計		15名	

**【質問方式】**（いずれも質問制限時間（答弁時間を含まない。）は 30 分）

**一括質問一括答弁方式：** 全質問項目を一括して行い、答弁も一括して行う。  
（初回は登壇して行い、質問回数は 3 回まで。）

**一問一答方式：** 質問及び答弁を一問ずつ行う。（ただし初回の質問は、登壇して最初の質問項目のみをまとめて行う。質問回数に制限なし）

**複合型一問一答方式：** 一問一答方式において、質問大項目の最初の質問はまとめて行い、以降は一問ずつ行う。



質問 順位	質問内容
2	<p style="text-align: center;">交通安全について</p> <p>(1) 新年度を迎えるにあたり、園児、児童、生徒の交通事故が心配される。子どもたちに対する交通安全指導の現状と、今後の取組について伺う。</p> <p>(2) 現在の通学路整備に関する警察署との連携について伺う。</p> <p>(3) 南魚沼交通安全協会の存続について考えを伺う。</p>
議席	
10	
塩  川  裕  紀        (一問一答方式)	

質問 順位	質問 内 容
3	<p>1 財政の“見える化”推進に「新地方公会計制度」の導入を</p>
議席	
16	
中 沢 一 博	<p>新地方公会計制度は、従来の地方自治体の会計制度に企業会計的な要素を取り入れ、財政の“見える化”を進めるものである。</p> <p>具体的には、現金の出入りのみを記録する単式簿記による「現金主義会計」に加えて、原因とともに資産などの増減を記録する複式簿記による「発生主義会計」の手法を採用している。</p> <p>当市の、新地方公会計制度の導入に向けた取組推進と課題について伺う。</p> <p>2 当市における、住宅宿泊事業法（民泊新法）の考え方について</p> <p>訪日外国人の急増に伴い、国は一般住宅を宿泊施設として活用する「民泊新法」を2018年6月施行に向けて進めている。</p> <p>当市に於いて、旅館業の許可を有した民宿・旅館施設が多い中、健全な事業者を守るためにも自治体が独自の規制条例をつくる必要があると考えるが、市長に伺う。</p>
(一問一答方式)	

質問 順位	質 問 内 容
4	<b>高齢者が住みよい環境整備を</b>
議席	
9	
桑 原 圭 美  (一問一答方式)	<p>当市の65歳以上が占める高齢者人口は、平成31年には18,000人を超え、高齢化率が33%に達する。高齢者福祉は、子どもの教育や若者の雇用の安定化以上に自治体の大きな課題となっている。また、高齢者のみの世帯や独居老人世帯の増加に対応できる福祉政策を検討しなければならないし、労働者の介護離職が進めば、経済的な影響も考慮しなくてはならなくなる。</p> <p>介護職不足に対する抜本的な取組や、運転免許証返納後の「交通手段」、冬場の除雪など、高齢者の生活を守る部分について質問する。</p> <p>(1) 高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定過程における事業所等へのアンケート結果と今後の方向性について</p> <p>(2) 高齢者及び要配慮世帯住宅除雪援助事業について</p> <p>(3) 新たな介護支援ボランティア制度(新規事業)と介護人材不足への対応について</p> <p>(4) 医療と介護の連携について</p> <p>(5) 介護離職と経済への影響について</p> <p>(6) 交通弱者対策とコンパクトビレッジについて</p>

質問 順位	質問 内 容
5	1 地域コミュニティ活性化事業について
議席	
4	<p>「主役は地域のみなさん」の下、市民主体にて地域の独自性を活かしつつ、市内全域 12 地区の地域づくり協議会の中で自由裁量が認められ、年々整備され充実してきた。しかしながら、施政方針で示された「さらなる機能拡大と充実」のためには、交付金、地区の相互連携、後継者育成等にそれぞれ課題があると考えられる。そこで林市政に伺う。</p>
吉 田 光 利  (複合型一問一答方式)	<p>(1) 行財政改革メリットは、どのように評価されているのか。</p> <p>(2) さらなる充実拡大を図るべきと思うが、今後の事業展開は。</p> <p>(3) 12 地区の相互連携と水平展開の活性化が必要と思うがどうか。</p> <p>(4) 支援交付金の増額が必要と思うがどうか。</p> <p>2 婚活支援について</p> <p>南魚沼市総合戦略の中の「結婚の希望をかなえる支援」において、民間企業や市民団体との連携により婚活をサポートする体制づくりを推進するとしているが、いま一つ活動が伝わってこない。そこで林市政に伺う。</p> <p>(1) 現状の取組と成果はどうか。</p> <p>(2) 担当部門に専任等を設け、積極的に取り組むべきと思うがどうか。</p>

質問 順位	質 問 内 容
6	<p style="text-align: center;">一般市民向けの市内スキー場共通シーズン券について</p>
議 席	
8	
永 井 拓 三  (一問一答方式)	<p>今、南魚沼市は生涯教育に力を入れていくということを明言している。特に多雪地域の南魚沼市ならではのスポーツであるスキー・スノーボードは、その生涯教育には欠かせない存在であることは言うまでもない。一方で、そのスキー・スノーボードを経験する機会は昔に比べて多くなっているのだろうか。地方創生が叫ばれる昨今、地域特有のスポーツを地域住民が日常のようにすることで地方は活性化し、そして観光収入となりうるものになっていくのではないだろうか。そこで、以下のとおり質問する。</p> <p>(1) 子どもがいない市民に対して、市内スキー場共通シーズン券を購入する機会を与えないのか。</p> <p>(2) 生涯教育とスキー・スノーボードの関わり合いについて</p>



質問 順位	質 問 内 容
7	<b>平成30年度施政方針演説について</b>
議 席	<p>(1) 公共施設等総合管理計画に基づき毎年の維持管理更新費削減金額をいつ公開するのかをうかがう。</p> <p>(2) 外国人宿泊者数増加に向けたランドオペレーターを外国から誘致する考えはないかうかがう。</p> <p>(3) ふるさと納税寄付金を新たな基金として積み、一般財源と区別しておく考えはないかうかがう。</p> <p>(4) 公設民営の上町保育園、めぐみ野保育園、浦佐認定こども園を公私連携型保育園へ移行して運営形態を変える目的は何かをうかがう。</p>
1 5	
寺 口 友 彦	
（一問一答方式）	



質問 順位	質 問 内 容
9	1 県原発検証委員会について
議席	(1) 市としての問題点・課題をこの委員会に伝えているのか。伝えているのであれば、どのような点を伝えているのか。
21	(2) この委員会は伝えた点をどう活かすのか。
牧 野 晶	2 市内業者育成について  市の予算は減少していく。「市内業者でできることは市内業者で」を更に進めていかなければならない。どういう方向に進んでいくのか。
(一問一答方式)	



質問 順位	質問 内 容
11	<b>未来をつくる子どもたちのための教育環境整備を</b>
議席	
14	
佐藤剛          (一問一答方式)	<p>(1) 次期学習指導要領実施を見据えた教育の情報化と学習環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①プログラミング教育に向けての情報化（学校のICT環境整備）を今から進める必要があるのではないか。</li> <li>②英語の教科化を機に、更に特色ある学校（国際化に向けた）づくりを。</li> </ul> <p>(2) 子どもの読書活動推進と学校図書室の充実を。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①学校図書室の蔵書数と廃棄処分等の現状は。</li> <li>②学校図書室のデータベース化とその活用方針は。</li> <li>③子どもの読書活動推進とアクティブ・ラーニング（児童生徒の能動的な学び）のためにも学校司書の配置を。</li> </ul> <p>(3) 教育現場の業務改善（教員の多忙化解消）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①市立小中学校教員の残業時間は。</li> <li>②教師の多忙化が解消されない理由は。</li> <li>③多忙化解消のための具体的対策は。</li> </ul> <p>(4) 今こそ、「教育」をまちづくりの基本に。</p>



質問 順位	質問 内 容
13	<p><b>1 魚沼地域の医療体制の充実に向けた医療再編への取組について</b>            基幹病院では、来年度も三つの病棟が立ち上がらない見込みであり、一日も早い医療再編の完結が急がれる。</p>
議席	
2	<p>(1) どのような考えから、平成30年度病院事業会計当初予算を赤字予算編成としたのか伺う。</p> <p>(2) 基幹病院の現状もある中で、一日も早い医療再編の完結を目指す必要があるが、現状における問題点の認識やその改善に向けた対策等について伺う。</p>
梅 沢 道 男  (一 問 一 答 方式)	<p><b>2 2020東京五輪に向けた受動喫煙防止対策の推進について</b>            東京五輪に向け、国は受動喫煙防止の健康増進法改正案を検討中である。当市も、いきいき市民健康づくり計画を作成し、取組を進めている。</p> <p>(1) 当市における「世界禁煙デー」とそれに続く「禁煙週間」の取組内容について伺う。</p> <p>(2) 東京五輪に向けた当市の受動喫煙防止対策の実施計画について伺う。</p> <p>(3) 敷地・施設内禁煙未実施11%の公共施設はどこか伺う。</p> <p>(4) 市役所本庁舎、大和庁舎及び塩沢庁舎での受動喫煙防止対策の現状について伺う。</p> <p><b>3 県道欠之上五日町線の道路改良について</b>            八箇峠道路の開通、中学校の統合、大巻地区の小中学校統合計画等、交通体系や通学状況の変化に対応した交通安全対策のため、県道欠之上五日町線の道路改良は喫緊の課題と考える。改めて県に対して道路改良を強く要望すべきと思うが、考えを伺う。</p> <p><b>4 JR上越線の除雪対策の充実について</b>            JR上越線は、市民にとって生活に根を張った極めて重要な公共交通機関であり、通勤や通学、通院等に欠かせない路線となっている。国鉄時代はどんなに大雪でも必死で路線の確保に取り組んだが、近年はその面影はない。今冬も度々運休が見られ、通勤や通学に大きな支障が出ている。沿線自治体と連携し、強い決意をもってJR上越線における雪対策の充実を要望すべきと思うが考えを伺う。</p>

質問 順位	質 問 内 容
14	1 市内の空き家・空き地について
議席	
7	<p>(1) 空き家・空き地は年々増加傾向にあるが、これに対する市の取組はどうか。空き家バンクの現状について市長の所見を問う。</p>
勝 又 貞 夫  （一問一答方式）	<p>(2) 市の中心市街地にも空き地が目立つ。「市が買い上げて、街づくりを推進するべきだ」との、市民の声もある。空き地の増加は、新たな街づくりのチャンスでもあると思うが、市の今後の取組について問う。</p>
	<p>2 教育現場における「おいしい食べきり運動」について</p> <p>学校給食における食べ残しの現状はどうか。食べ残しが増える傾向も見られると聞いているが、どのような対策をとっているのかを問う。</p>
	<p>3 ごみ処理施設について</p> <p>ごみ処理施設の建設が最大の課題になっている。新ごみ処理施設の燃焼方式は、ストーカ方式ということで承認されている。</p>
	<p>(1) この方式だと残渣が従来約3倍になると聞いているが、この点について市長の所見を問う。</p> <p>(2) 廃棄物の残渣の最終処分場についてはどのように考えているかを問う。</p> <p>(3) ごみを減らす努力も必要と思うが、分別・リサイクルについての市長の考え方を問う。</p>



質問 順位	質問 内 容
15	1 新ごみ処理施設建設に当たって
議席	
13	
岡 村 雅 夫  (複 合 型 一 問 一 答 方 式)	<p>平成 28 年度に行われた建設地一般公募では、いずれも不相当との結果だった。市主導で選定するとの方針で、国際大学用地内の土地が最適との判断に至り、周辺集落行政区長に説明がされた。今後、行政区単位の地元説明会、希望団体等への説明会を予定している。健康・環境・農業への影響を心配する人が多くいる。</p> <p>(1) 新ごみ処理施設の焼却炉の安全性について伺う。</p> <p>(2) 設計、建設、運転業務をセットで入札する D B O 方式で安全・安心が保てるか。</p> <p>(3) 熱エネルギーの有効活用で循環型社会形成地域計画の策定とあるが、方針を伺う。</p> <p>2 バイオマスタウン構想の見直しに当たって</p> <p>施政方針の林業振興では、ペレットストーブ補助金で林地残材の利活用を進め、循環型社会の構築を目指すとある。また、市内産杉での建築を推進し、地域材の利用拡大による資源循環型の森林整備を図り、林業・建築業・木材産業の活性化、雇用の創出を目指すとある。実態は、ペレット製造は中止され、森林組合は製材部門から撤退する。</p> <p>(1) 平成 21 年策定のバイオマスタウン構想が見直されると聞く。総括と見直しの方針を伺う。</p> <p>(2) バイオマス発電の動きがあると聞くが、市は関与しているか。</p>